



議長室から

3月には5人の牧師が定年をお迎えになりました。それぞれの説教が機関紙「いのり」に連続して掲載されましたので、毎回楽しみにして読ませていただきました。これまでもお働きや辿り着いた福

りの説教や挨拶を読む際に、私にとって一番気がかりなことは、牧師の職務に感謝をもって終えられたのかどうかということだと思います。お働きの内容、奉職の年月が異なったことは当然ですが、神様への感

聞くことができ、心から嬉しく思っています。4月には4人の新任牧師を迎えることになりました。昨年は新卒牧師がいませんでしたので、喜ひもひとしおです。本人たちはもちろんですが、赴任教会

み言葉を宣教し、聖礼典を執り行うことです。按手式の説教で申し上げたことですが、特に新任牧師の数年間、説教作成、聖書会などの準備には時間と労力を必要とするものです。本人の努力と心構えは当然のことですが、適切な備

えの時間を確保するために、信徒の皆様のご協力と励ましをいただければ幸いです。

いや気の早い話ですが、4人の新任牧師の定年の時を私は見届けることはできないでしょう。でもその時の私の願いは、感謝をもって迎えて欲しいということです。

や関係施設の方々には着任を心待ちにされていたことでしょう。牧師の職務、働きは多様です。若い牧師たちゆえに様々な働きへの期待も大きいことでしょう。ただ、最も重要な牧師の働きは

感謝をもって始め、そして終える

総会議長 立山忠浩

4月は教会にとりましても人事異動の季節です。私ごとになりますが、東京池袋教会での21年間の働きが終わり、この4月から都南教会でご奉仕させていただきます。感謝をもって前任教会の働きを終えられ、そしてまた感謝をもって新たな教会の働きへ赴けることを喜んでいきます。

音理解がよく伝わって来るようでした。長年の良きご奉仕、本当にお疲れ様でしたという思いを新たにしました。

3月に定年をお迎えになる牧師が毎年いらっしやるわけですが、締めくく

の感謝は同じであって欲しいのです。同様に、奉仕された教会や関係者の感謝をもって退任されたことをただ願うのです。今年もそれぞれの牧師から感謝を込めた言葉を

「宗教改革における礼拝改革」、「日本福音ルーテル教会の式文」をわかりやすく興味深く話してくださいました。

「宗教改革500年を迎える私たちが、宗教改革は礼拝改革であり、それは福音の再発見と回復、それに基づく改革であったこと。ルターへの礼拝改革は、典礼思想の大転換であり、神の奉仕、神が奉仕」の礼拝とし、伝統に則った形式を「信仰義認」「恵みのみ」に基づいて構成したものであることを学びました。

「宗教改革」の歴史概観から教団出版局「礼拝と音楽」の編集委員である松本師に、「とにかくわかりやすく式文を学ぶ」ことをお願いしました。

九州教会では隔年で、「教会学校研修会」と「礼拝と音楽講習会」を行ってきました。今年は「礼拝と音楽講習会」の年でした。2月11日午後1時より、日本福音ルーテル博多教会のオーバーホールされたパイプオルガンの演奏で講習会がはじまりました。

九州教会 「礼拝と音楽講習会」

九州教会教育部長 立野泰博

九州教会では隔年で、「教会学校研修会」と「礼拝と音楽講習会」を行ってきました。今年は「礼拝と音楽講習会」の年でした。2月11日午後1時より、日本福音ルーテル博多教会のオーバーホールされたパイプオルガンの演奏で講習会がはじまりました。



九州教会では隔年で、「教会学校研修会」と「礼拝と音楽講習会」を行ってきました。今年は「礼拝と音楽講習会」の年でした。2月11日午後1時より、日本福音ルーテル博多教会のオーバーホールされたパイプオルガンの演奏で講習会がはじまりました。

九州教会では隔年で、「教会学校研修会」と「礼拝と音楽講習会」を行ってきました。今年は「礼拝と音楽講習会」の年でした。2月11日午後1時より、日本福音ルーテル博多教会のオーバーホールされたパイプオルガンの演奏で講習会がはじまりました。

九州教会では隔年で、「教会学校研修会」と「礼拝と音楽講習会」を行ってきました。今年は「礼拝と音楽講習会」の年でした。2月11日午後1時より、日本福音ルーテル博多教会のオーバーホールされたパイプオルガンの演奏で講習会がはじまりました。



プロジェクト3・11より いわき食品放射能計測所「いのり」について

企画委員 安井富生

不安に寄り添う。この地で生きていくこと、収穫された作物を食べること、子ども達を外で遊ばせること、その成長のこと、健康のこと、そのひとつひとつに対して、深い不安を抱え続けています。そして、その不安のひとつを口にすることさえ、家族の口にするにさえ、家族の中に溝を生じさせることになりかねず、ためらわねばならない辛さがあります。見えず、匂いもしないものに壊され続ける恐怖と痛み、そして深刻な分断。それが、東日本震災により引き起こされた原子力発電所事故がもたらしたことであり、4年という時間の経過も、未だ不安の軽減とはならない厳しい現実です。

震災発生から早い時期のこと、福島で三世代が同居する家族で祖父が作った作物を、食卓においてその孫にあたる自分の子どもたちに食べさせることへの不安を抱える母親がいました。心配はないとマスコミも地元生産者も報告していると言う義父に対し、母親は不安を口にすることができません。その

作物の安全を確認しようにも、公的機関での計測は名前こそ伏せられても様々な情報が記録・公表されるため利用できず、不安は募るばかりです。まさにそのような人の不安に寄り添うために、民間計測所である「いのり」は必要とされ、無料で計測を担っています。1時間を要する計測時間は、ようやく不安を口にする方の心を受けとめるケアの時間ともなります。こうして不安に寄り添われることが、生きることへの力となることでしょう。これこそ、教会の業です。その歩みに繋がれば、少しでも支えることになれば、年間25万円の支援を祈りと共にお送りすることを継続していきます。



いわき食品放射能計測所「いのり」が設置されている常磐教会。会堂右の平屋が計測所。

礼拝式文の改訂



ランケットO&A

(その1)

式文委員 松本義宣

前号で紹介したランケット

トで頂いたご質問やご意見に、限られた紙面ですがお答えいたします。ただその前に、これまでご紹介した試案の基本的なコンセプトを改めて整理します。幾つかの不明点や疑問点の「もやもや感」の払拭に繋がれば幸いです。

全体の構成が「招き」「みことば」「聖餐」「派遣」となったこと、これは初代教会以来の基本構成で、エキムニカルな視点でもその長短や強調点の違いや内容の濃淡は別にして、共有されているものです。ことに私たちルター派として、宗教改革の基本理念たる「礼拝は神の業」、人が神に奉仕するのではなく、まづ神が人に奉仕して下さる出来事ももちろんだからこそ人は感謝をもって応じるのです。その神の主体性、先行性が根本です。この4部構成も、すべて神が主

語です。つまり、神が「招き」「みことば」を語り、いのちの糧「聖餐」で養い、この世に「派遣」する。派遣から再び神に招かれて礼拝に集う(帰る)、その派遣から招きへの間も、私たちは礼拝で受けた恵みと祝福を携えて生きるのですから、私たちの全生涯がある意味「礼拝」そのものとなる、そんな理解です。

さて、現行式文の「奉献の部」がなくなること、とりわけ献金が「派遣」に置かれたことにご意見があまりしませんでした。ご意見があまりしませんでした。ご意見があまりしませんでした。

「招き」における「洗礼の想起」や言及が、未受洗者の排除にならないかというご指摘もありました。教会が教会であるのは、福音の宣教と聖礼典の正しい執行です。そのしるしが礼拝です。

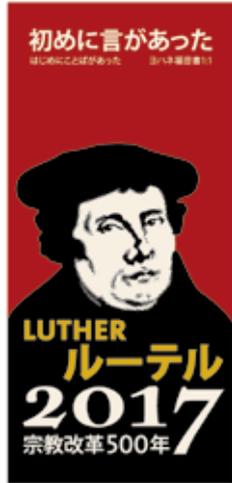
「洗礼」の重要性を礼拝であり、強調されなかつたことがあり。しかし私たちは、常にこの原点に立ち返る必要があるのではないのでしょうか。それがこの提案です。神は、すべての人を、まづ悔い改めと「洗礼」へと招かれます。すべての人を待つておられます。続

「招き」における「洗礼の想起」や言及が、未受洗者の排除にならないかというご指摘もありました。教会が教会であるのは、福音の宣教と聖礼典の正しい執行です。そのしるしが礼拝です。

「洗礼」の重要性を礼拝であり、強調されなかつたことがあり。しかし私たちは、常にこの原点に立ち返る必要があるのではないのでしょうか。それがこの提案です。神は、すべての人を、まづ悔い改めと「洗礼」へと招かれます。すべての人を待つておられます。続

「招き」における「洗礼の想起」や言及が、未受洗者の排除にならないかというご指摘もありました。教会が教会であるのは、福音の宣教と聖礼典の正しい執行です。そのしるしが礼拝です。

「招き」における「洗礼の想起」や言及が、未受洗者の排除にならないかというご指摘もありました。教会が教会であるのは、福音の宣教と聖礼典の正しい執行です。そのしるしが礼拝です。



連載 マルティン・ルター、人生の時の時(3)

江口再起

何が起きたのか。後年、ルターはこの体験を回想しています(『ラテン語著作全集・第1巻の序文』)。それによると、大きな声では言えないが、実は「神の義」ということを、ル

努力し、がんばる。しかし、いくらがんばっても「怒りの神」の前では人は安心できない。神への信仰の不全感が増すばかり。ところが塔の一室でローマ書17節を読んでいたら驚くべきことが記されていた。「福音には神の義が啓示されている。それは始めから終りまで信仰を通して実現される。つまり、「神の義は『呪い』でなく、『福音』で書いてある。目からウロコが落ちた。開眼。どういうことか。神は『怒りの神』ではない。いやそれどころか、それが『救い』というこ

となのだ。神は「怒りの神」でなく、「恩寵の神」である。神への信仰の不全感はなく解消し、いやそれどころか、ルターはほんとうの意味での神との一体感を感じたのです。信仰の確立です。以上が「塔の体験」の中身です。神は「恩寵の神」である。まさに「恵みのみ」です。それがすべてです。このことをルター教会では「信仰義認」と呼んできました。しかし、考えてみれば、より正確には恩寵義認、と言っべきでしょう。(つづく)

新任教職あいさつ



甲斐友朗(かいともあき) 赴任先が 決まる前 私はある召 天された牧



関 満能(せきみつひで) 全国諸教会の皆様、3月 に按手を受 け、この4月



渡邊克博(わたなべかつひろ) 4月より 浜松教会と 浜名教会へ 赴任するこ



渡辺高伸(わたなべたかのぶ) この春か ら新靈山教 会の牧師と なります。渡

師のご伴侶から、その先生が使われていたというスツールをいただきました。そして赴任先が発表になりました。するとそこは、その先生が牧師として働かれていた場所だったのです。私はいま、シオン教会が、神様が私に用意してくださった任地だということを感じています。この今の思いを忘れず、与えられた地で精いっぱい神様の愛を宣べ伝えていきたいと思

から水俣教会と八代教会に赴任します。関満能です。とうとう牧師となる日が来しました。しかし、牧師となると言ってもこれからが牧師とされていく日々が始まります。今、私の心に響いている言葉は、「福音のためなら、わたしはどんなことでもします」というパウロの言葉です。教会と地域社会に生きる人々と共に福音の喜びを分かち合う牧師とされたいと思

お詫びと訂正 3月号の記事につきまして、筆者の意図とは異なる編集を行い、確認が十分でないまま発行してしまいました。筆者の松木傑牧師と読者の皆さんにご迷惑をおかけしたことをお詫び致します。以下、該当箇所を訂正します。 3月号1面4段1行「一見すると同じですが、99.9%神様の絶対に従うことと、それを100%とし、理性を無視する態度には大きな違い」を「一見すると同じですが、99.9%理性を尊重し、0.1%の神様の絶対に従うことと、理性を無視する態度には大きな違い」と致し

広報室長 安井直生

九州地域教師会報告



九州地域教師会会長 杉本洋一

九州地域教師会退修会が、2月16〜17日、熊本教会を会場にして行われた。会員21名中、19名が出席した。

今回のテーマは、「ルター教会と信仰義認、そして、日本人」。それは、歴史的に宗教改革を経験していない国の教会として、宣教に遣わされた場所、ど

のように、神の言葉を伝えていくのかという問題意識に立つてのことであり、来る2017年の宗教改革500年を意欲してのことである。信仰義認を根幹に据える教会が、この世とこの地域において、どのように、共に歩んでいけるかという

ある教会ともいえるだろう。教派性を持たない教会であり、主の祈りと使徒信条のみ信仰告白文書として重視する教会である。

講師の江口再起先生より「信仰義認と日本人」と題して、講演をしていただいた。日本人が受け止める「信仰」の理解とルター

の交流の難しさがあるが、この教師会において、1泊2日の時間と場所を同じくすることによって、自分の課題や問題を語り合う大事な機会とすることができたと思う。

市ヶ谷センターにて標記研修会が開催された。出席者は、JELC(宗教法

7月12日、ルーテル市ヶ谷センターにて標記研修会が開催された。出席者は、JELC(宗教法

第7回 教会推薦理事研修会 報告

事務局長 白川道生

1月12日、ルーテル市ヶ谷センターにて標記研修会が開催された。

を考える研修とした。基調講演として、山本誠さん(聖霊福祉事業団)に

それを囲む2重の円はイエス洗足の桶を表している。

2年後、「隣人愛」に、使命・ビジョン・職員行動指針から構成された説明が全職員に配布された。

公告

この度、左記の行為を致します。2015年4月15日 宗教法

日本福音ルーテル教会 代表役員 立山忠浩

信徒・利害関係人 各位

小城教会土地一部売却 所在地 小城市小城町 字東小路

地番 169番6 地目 宅地

地番 31・90 地目 宅地

地番 169番7 地目 宅地

地積 53・11 理由 通学道路拡張のため

の一部を売却するため。

日本福音ルーテル教会 2015年度人事

(敬称略/50音順)

○引退

(2015年3月31日付)

- ・鐘ヶ江昭洋
・佐々木赫子
・鷺見達也
・松木 傑
・吉谷正典
・新任
・甲斐友朗

【北海道特別教区】

該当なし

【東教区】

・青田勇
・東京池袋教会、事務局(室長兼任)

【西教区】

・甲斐友朗
・シオン教会

【東海教区】

・内藤文子
・掛川・菊川教会(主任)

【九州教区】

・関 満能
・水俣教会、八代教会

○休職

・後藤由起

○その他

・任用変更

▽任用変更

(2015年4月1日付)

- ・太田一彦
・仙台教会、鶴ヶ谷教会
・小勝奈保子
・聖パウロ教会
・後藤直紀
・板橋教会、東京教会(兼任)
・立山忠浩
・都南教会
・渡邊克博
・渡辺高伸
・新霊山教会
・掛川・菊川教会(主任)
・内藤文子
・掛川・菊川教会(主任)
・豊中教会(主任)
・室原康志
・西条教会
・関 満能
・水俣教会、八代教会
・後藤由起
・甲斐友朗
・シオン教会
・三原教会(主任)、福山教会(主任)
・竹田大地
・宇部教会(主任)
・松本義宣
・後藤直紀
・小勝奈保子
・後藤直紀
・(嘱託用か、一般任用)
・ルーツ学院中学・高校
・ザック・コービン
・ルーテル学院中学・高校
・デイーン・ホルツ
・九州学院中学・高校
・ハナ・ジャンセン、ラインキ
・中村圭助
・復活教会
・藤井邦夫
・宇部教会
・横田弘行
・掛川・菊川教会
・渡邊 進
・沼津教会

▽宣教師

(2015年3月31日付)

▽教会委嘱

(2015年4月1日付)

- ・J3プログラム新任
・J3プログラム退任
・キャロリン・キーン
・九州学院中学・高校
・モーガン・ディクソン
・ルーテル学院中学・高校
・ローラ・フェントレス
・ルーテル学院中学・高校
・白髭 義
・二日市教会、甘木教会

- ・明比輝代彦
・富士教会
・佐々木赫子
・松山教会
・白髭 義
・二日市教会、甘木教会

現在の3代目の理事長。ノックリスチャンであるが故に、理念の「隣人愛」について、「この言葉だけでは分らない」と悩み抜き、「聖霊の理念」が読んでわかるような表現とするために、特別のチームが組まれた。そし

て2年後、「隣人愛」に、使命・ビジョン・職員行動指針から構成された説明が全職員に配布された。